

2002年3月制定
2019年10月最終改訂

1. 掲載原稿

本誌には、広く鯨類やその他の海棲哺乳類に関する論文（原著、総説、報告、短報、資料・情報紹介）や研究会記事などを掲載する。

原稿は未発表のものに限る。ただし、会誌編集委員会が特に必要と認めた場合は、この限りではない。

原稿の長さに制限を設けないが、刷り上がり16頁を超える場合は、追加費用実費を著者負担とする。

掲載文の著作権は、日本セトロジー研究会に帰属する。

2. 投稿資格

原稿の著者は、本会会員に限る。共同執筆者には会員以外のもを含むことができるが、第1著者は会員でなければならない。ただし、編集委員会が認めたときは、会員以外からの特別寄稿を受けることがある。

3. 原稿の受付

原稿は、この規定に従って書かれ、かつ直ちに印刷に付すことのできる状態になっている場合に限って受付ける。規定に適合しない原稿は、編集委員長が投稿者へ返却する。

4. 査 読

受け付けられた原稿のうち、論文（原著、総説、報告、短報、資料・情報紹介）については、査読を受けるものとする。論文の内容に関して問題があると編集委員が判断したときは、編集委員会として投稿者にその旨を知らせ、訂正を求める。会誌掲載が不相当であると編集委員会がみなしたものについては、その論文原稿に理由を明記して、投稿者に返却する。編集委員会が掲載可と認めた原稿は受理される。

5. 原稿の用紙と書き方

A4判の用紙を用いる。行間はダブルスペースとする。

1) 論文の構成

日本語の場合は、表題、著者名、所属・所属所在地、英文表題、英文所属・英文所属所在地、和文要旨、英文要（Abstract）、本文、引用文献の順とする。大見出し（緒言、方法等）はゴシック左寄せ改行、中見出しは明朝太字左寄せ改行、小見出しは明朝太字左寄せで、改行せずに1字あけて本文を続ける。さらに細分した見出しが必要な場合には番号（1., 2., …）を付け、太字にはしない。

英文の場合は、表題、所属・所属所在地、英文要旨（Abstract）、本文、引用文献、和文表題、和文著者名、和文所属・所属所在地、和文要旨の順とする。

2) 用語と生物名・人名・単位など

当用漢字、新仮名使い（生物名は片仮名）を用いる。和文の句読点は全角コンマ「,」、全角ピリオド「.」を用いる。英字、学名、数字は半角文字を用いる。アラビア数字、メートル法、摂氏温度を用いる。

3) 引用文献

文献は本文中に引用されたものに限る。かつそのすべてを記さなければならない。文献の配列の順序は、著者名（姓前名後）のABC順とする。姓の同じものについては名のABC順による。第1著者が同一の場合は単独のものを最初におき、そのあとは第2著者の氏名のABC順とする。また、著者が同一のものについては、発表の年代順とする。同一著者かつ同一年のものについては、年号のあとにアルファベットを付して、2002a, 2002bのように区分する。

欧文献の著者は、ファーストオーサーだけでなく他のオーサーについても「家族名（ラストネーム）、個人名（ファーストネーム）の頭文字、ミドルネームの頭文字。」の順に記す。ラストオーサーとその直前のオーサーとは、「, and」で接続する。2名の場合は「and」だけでよい。各文献は次の形式にのっとり、また下記の例にならって記載する。

雑誌掲載論文の場合：著者名（年）論文表題。掲載雑誌名，巻：掲載ページ。

単行本の場合：著者名（年）表題。ページ数pp., 発行所，発行地。

単行本掲載論文の場合（和文）：著者名（年）論文表題。編者名（編），単行本名。pp. 掲載頁，発行所，発行地。

（英文）：Authors (year) Title. In: Editors (eds.), *Title of book*, pp. Pages, Publisher, Location.

〈文献記載例〉

平坂恭介（1936）本邦近海産鯨目へ添加。動物学雑誌, 48: 72-74.

本間義治・青柳彰・中村幸弘（1995）1993年5月から1994年5月の間に得られた新潟県内における鯨類の漂着・採集・目撃記録。日本海セトロジー研究, (5): 23-26.

Jefferson, T. A., Webber, M. A., and Pitman, R. L. (2007) *Marine mammals of the world: a comprehensive guide to their identification*. 592pp., Academic Press, Amsterdam.

- 神谷敏郎 (1989) 人魚の博物誌－海獣学事始. 193pp., 思索社, 東京.
- Kasuya, T. (2002) Giant beaked whales. In: Perrin, W. F., Wursig, B., and Thewissen, J. G. M. (eds.), *Encyclopedia of Marine Mammals*, pp. 519–522, Academic Press, London.
- Kasuya, T. and Ohsumi, S. (1984) Further analysis of the Baird's beaked whale stock in the western North Pacific. *Report of International Whaling Commission*, 34: 587–595.
- 岸野洋久(1991) 鯨類資源量解析におけるライントランセクト法の適用. 桜本和美・加藤秀弘・田中昌一 (編), 鯨類資源の研究と管理, pp. 117–131, 恒星社厚生閣, 東京.
- Marsh, N. and Bamber, C. (1999) Development of a specialised round and firearm for the humane euthanasia of stranded sperm whales (*Physeter macrocephalus*) in New Zealand. *Document IWC/51/WK5 submitted to the IWC Workshop on whale killing method*, May 1999.
- Morisaka, T. and Connor, R. C. (2007) Predation by killer whales (*Orcinus orca*) and the evolution of whistle loss and narrow band high frequency clicks in odontocetes. *Journal of Evolutionary Biology*, 20: 1439–1458.

本文中に文献を引用する場合は、下記の例にならって記載する。著者が2名の場合は、著者姓を「and」または「・」で連ねる。3名以上の場合は「et al.」または「ら」を用いて省略する。著者名と年の間は空白とし、複数の論文を引用する場合は「,」で区切る。

〈本文引用記載例〉

Wada et al. (2003) は…
 大石 (1999a) で…
 前報 (本間・古川原 2008) を…
 …になった (Yamada 2008).
 …ていない (Perrin and Brownell 2007).
 …され (Yamada and Chou 2004, Yamada et al. 2004b, Yamada et al. 2006 2007, 山田ら 2007),
 …ている (Yamada et al. 2006, 山田ら 2007 2008).

4) 図と表, 写真およびその説明

図と表は、1つずつ別ファイルに収める。なお、図と表の横幅は全段か片段仕上げとなることを考慮し作成する。また、図と表は必ず本文中に和文は図1, 表1, 英文はFig. 1, Table 1などとして引用し、説明は別紙とする。

表の罫線は最小限に留め、原則として縦の罫線は用いない。表の上部に簡潔な表題を付け、末尾には句点、ピリオドを付さない。

図の表題および説明は別葉として一括して書く。なお、図の表題および説明は改行しない。図の作成者や写真の撮影者が著者と異なるときは、説明中にそのことを明記し、また必要な場合は、著者のほうであらかじめ著作権者の許可を受けておくこと。

5) 英文について

論文中の英文 (要旨を含む) については、著者の責任において投稿前に英文校閲に付すこと。

6. 原稿の送付

原稿 (表題, 著者名, 所属・所属所在地, 英文表題, 英文所属・英文所属所在地, 和文要旨, 英文要旨 (Abstract), 本文, 引用文献, 図・表の説明など) と図表は、電子ファイルをメール添付等で編集局に提出する。ファイル形式は原則として MS-Word, MS-Excel, Adobe Illustrator とする。これ以外の形式の場合は、提出に先立って編集局に相談すること。

図表はグレースケール印刷を基本とするが、カラー印刷を希望する場合は、追加費用実費を著者負担とする。

7. 校正と別刷

著者校正は初校のみとする。

論文の著者には、1論文につき50部の別刷、および出版された論文のPDFファイルを贈呈する。50部を越えて別刷を必要とする場合、超過分についての実費を自己負担とする。別刷の希望部数は初校原稿の欄外に記入すること。

8. 規定の適用・掲載・改訂など

この規定は、日本セトロロジー研究 2019 年 10 月以降に投稿される論文から適用する。

この規定は、日本セトロロジー研究の毎号に掲載する。

この規定の改訂は、編集委員会の議を経て幹事会の承認を得て行う。

原稿送付先および編集に関する連絡先

〒041-8611 北海道函館市港町3-1-1 北海道大学 松石研究室
 日本セトロロジー研究会会誌編集局
 TEL: 0138-40-8857 E-mail: jcedit@fish.hokudai.ac.jp